

次期特別支援教育推進計画の基本方向(案)

特別支援教育課

本県が目指すべき特別支援教育の基本方向

1 インクルーシブな教育の必要性

- 少子化、情報化、グローバル化など変化の激しい社会を生きぬくには、その変化に適応し、新たな価値を創造する人材を育成することが求められている。
- そのためには、多様な他者を理解し、相互に人格や個性を尊重し合う力や、様々な文化や価値観の中でも自分の考えを深め、自ら判断し問題を解決していく力を身に付けていくことが必要である。
- そうした力を育む教育の一つのあり方として、障がいのある子もいない子も一人一人がもてる力を最大限に発揮し、共に学び合うインクルーシブな教育が、すべての子どもたちにとって必要である。
- 本県はこれまで、個の教育的ニーズに応じた特別な支援を大切に考え、個別指導の充実を推進してきた。
- しかし今後は、これまで大事にしてきたことの上に新たな視点を持ち、可能な限り「共に学ぶ」ことを追求するとともに、連続性のある「多様な学びの場」の中で、適切な教育が提供できるしくみを整えていくことが、目指すべき共生社会につながると考える。

2 目指すべき方向

障がいのある子もいない子も一人一人がもてる力を最大限に発揮し、共に学び合うインクルーシブな教育

